東北地方 1か月予報

(2月2日から3月1日までの天候見通し)

平成25年2月1日 仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりで す。

東北日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

週別の気温は、1週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

< 向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>

[気温] 東北地方 30 40 30 [降水量] 東北地方 30 40 30 [日照時間] 東北日本海側 30 40 30 東北太平洋側 40 30 30 [降雪量] 東北日本海側 30 30 40 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>

[1週目]	東北地方	20	40	40	
[2週目]	東北地方	40	30	30	
[3~4週目]	東北地方	40	30	30	
		低い	平年:	Tr Tr	高い

<予報の対象期間>

1か月 : 2月 2日(土)~ 3月 1日(金) 1週目 : 2月 2日(土)~ 2月 8日(金) 2週目 : 2月 9日(土)~ 2月15日(金) 3~4週目 : 2月16日(土)~ 3月 1日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は2月8日

3か月予報:2月25日(月) 14時 暖候期予報:2月25日(月) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1)30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気 温	降水量	日照時間	降雪量			
	()	(mm)	(時間)	(cm)	1 週目	2 週目	3~4週目
青森	-0.7	108.1	70.9	171	-1.3	-1.0	-0.1
深浦	0.1	76.3	47.7	89	-0.5	-0.2	0.6
むつ	-1.1	83.0	91.8	147	-1.7	-1.4	-0.6
八戸	-0.4	40.0	130.0	80	-1.2	-0.8	0.1
秋田	0.6	88.0	62.9	104	-0.1	0.4	1.1
盛岡	-1.1	50.8	127.7	77	-2.0	-1.5	-0.5
大船渡	1.1	48.2	136.1	28	0.6	0.9	1.6
宮古	0.5	61.1	152.1	56	-0.1	0.3	1.0
仙台	2.1	40.2	150.6	28	1.5	2.0	2.6
石巻	1.3	37.0	162.3	28	0.7	1.2	1.8
山形	0.2	62.6	99.4	119	-0.5	0.0	0.7
新庄	-0.6	137.2	58.7	212	-1.3	-0.8	-0.2
酒田	1.9	111.9	59.6	95	1.3	1.7	2.4
福島	2.3	45.8	142.5	58	1.6	2.1	2.8
若松	0.0	69.8	98.2	138	-0.7	-0.3	0.5
白河	0.9	40.9	151.9	41	0.2	0.7	1.4
小名浜	4.1	59.7	176.0	-	3.5	3.9	4.5

小名浜の降雪量の平年値はありません。なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いは ありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2)1981 ~ 2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.2 ~ +0.5	80 ~ 110	95 ~ 104	81 ~ 113
東北日本海側	-0.3 ~ +0.5	88 ~ 110	90 ~ 107	88 ~ 119
東北太平洋側	-0.2 ~ +0.5	65 ~ 120	98 ~ 105	75 ~ 108

(3)この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3~4週目
東北地方	-0.5 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.9	-0.6 ~ +0.7
東北日本海側	-0.5 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.9	-0.6 ~ +0.7
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.8	-0.5 ~ +0.9	-0.5 ~ +0.7

<参考資料(利用上の注意)>

- (1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981 ~ 2010年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。
- (2)予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10%以下や 60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。
- 出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。 (3)晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成25年2月1日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(2月2日~3月1日):

冬型の気圧配置となる日が多いですが、期間の前半は気圧の谷の影響を受けやすいでしょう。 東北日本海側では平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が 多い見込みです。

1週目(2月2日~2月8日):

気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、東北日本海側を中心に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。なお、明日(2日)から明後日(3日)にかけて発達する低気圧の影響で、荒れた 天気となるおそれがあります。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

2週目(2月9日~2月15日):

冬型の気圧配置の影響は平年よりやや弱く、気圧の谷の影響を受けやすいでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

3~4週目(2月16日~3月1日):

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪の日が多く、 東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数(日)

青	森	秋	田	盛	岡	仙	台	山	形	福	島
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
6.0	18.5	5. 1	16.4	15.4	8. 4	18.7	5. 0	10.8	12.2	17.4	7. 0

晴れ日数は「日照率 40%以上の日数」、降水日数は「日降水量 1mm 以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目、3~4週目ともに 平年付近の予想となっている。

東北 地方 地域平均気温平年差 実測値 ┩予測値 5 4 3 気 2 温 1 0 年 差 -1 (°C) -2 -3 -4 -5 1/12 1/19 1/26 2/2 2/9 2/16 2/23

- グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影の範囲)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影の範囲)を表示。
- ・ 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3~4週目の平均を表す。
- ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1か月平均と1. 2週目の上空の大気の流れの予想(500hPa 予想天気図)

1か月平均: 東シベリアから北海道にかけて負偏差、華中・華南から本州を通って太平洋北東部にかけて東西に正偏差となる。東北地方は正偏差と負偏差の境目となり、期間の前半を中心に低気圧の影響を受けやすく、寒気と暖気の影響を交互に受ける。気温は平年並で、降水量はやや多い傾向となる見込み。

1週目:日本付近は、北側に負偏差が東西に広がり、南側に正偏差が東西に広がる。東北地方は気圧の谷の影響を受けやすいが、強い寒気の影響は一時的で、気温は高い傾向を見込む。

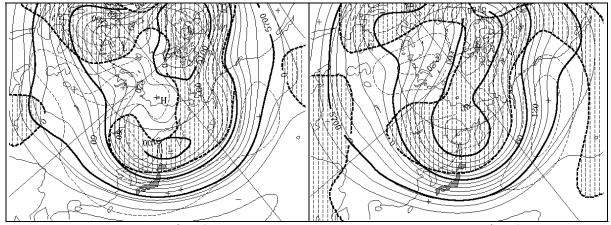
2週目:日本付近は、北側に負偏差が東西に広がり、南側に正偏差が東西に広がる。気圧の谷の影

1. b. H. W. b. 500b P.o. 圣相王复图

1 か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は 1,2 週目と同じ。ただし偏差の間隔は 30m。

響を受けやすく、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ない見込み。



1 週目平均 500hPa 予想天気図

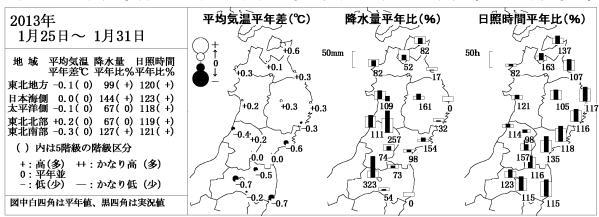
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高度線(間隔 60m)、点線は偏差(間隔 60m)。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近1週間(1月25日~1月31日)の天候の経過

期間のはじめに低気圧が北日本を通過し、その後冬型の気圧配置が続いたが、期間の終わりは高気圧に覆われた。東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。25 日から 26 日にかけては低気圧が発達しながら北日本を通過したため、各県で大雪となり、25 日は福島県と山形県で日降雪量 50cm 以上の所があった。29 日から 30 日にかけては冬型の気圧配置の影響で、東北日本海側を中心に大雪となった所があった。

平均気温は平年並。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)